

## 薬薬連携に関する調査検証 (フォローアップ実施等の質の高い薬学的管理における 病院と薬局連携の合理化)

所 属 東京薬科大学薬学部  
分担研究者 北垣 邦彦  
分担研究者 山田 哲也  
分担研究者 藤宮 龍祥

### 研究要旨

フォローアップ業務での情報は、その情報を得た薬局のかかりつけ薬剤師や病院薬剤師のみで所有するだけでなく、情報の内容によっては、薬薬連携につなげることが望ましい。本分担研究では、Protocol Based Pharmacotherapy Management (PBPM) を活用した手法について検討することとし、抗がん剤治療に関する情報提供に関する現状把握と、令和3年度に実施予定の薬局向けのがん治療薬の外来処方箋についての病院との連携等に関する調査計画の検討を行った。

### A. 研究目的

フォローアップ業務は、令和元年の医薬品医療機器等法の改正によって、新たに盛り込まれた業務であるが、これまでも薬剤師等において、必要に応じて実施してきたところである。実際、先行研究では、抗がん剤治療に関するフォローアップの実施が多い状況にある。また、令和元年の薬機法改正において、医療専門連携薬局として、がん治療に関する内容を専門とする薬局が登場することも盛り込まれている。また、外来がん化学療法 of PBPM の活用による好事例も公表されているが、一部の個別契約による PBPM のケースが主であり、広く薬薬連携に活用されている例は少ないことが予想される。

本分担研究では、薬剤師のフォローアップ業務のうち、抗がん剤療法を実施している患者に関する情報について、患者自身から情報を入手しなくても、患者の許可のもと、患者の通う病院が外部に提供可能な情報はどのようなものかをまずは分かりやすくするための調査を実施し、病院から薬

局への情報の提供の実態を把握する。

### B. 研究方法

外来がん化学療法における薬薬連携の枠組みとして、病院・薬局・患者間で情報のやり取りに焦点をあて、まず、病院から薬局への情報提供について調査を実施した。具体的には、情報提供の実施状況、情報提供の内容（レジメン、検査値等）を調査内容とし、調査対象としては、都道府県がん診療連携拠点病院の51病院及び地域がん診療連携拠点病院の275病院を選定した。

なお、都道府県がん診療連携拠点病院は、都道府県におけるがん診療の質の向上を目指し、がん診療連携協力体制の構築を勧める目的を持つ。一方、地域がん診療連携拠点病院は、がん診療の連携協力体制の整備を担っている。

調査方法としては、まず、予備調査として、Web公開情報に基づき、現時点で、がん診療連携拠点病院が考える外来がん患者への服薬指導・フォローアップの際に薬局を支援する情報（項目）がどのようなものがあるか調査を行う。

さらに、この予備調査を基にして、薬局における病院からの情報入手の現状等について調査を行うためのアンケート案を作成し、来年度以降への倫理審査委員会資料、アンケートの実施につなげる。

(倫理面への配慮)

来年度、アンケート調査項目等が固まり次第、本学の倫理審査委員会の審査を受ける予定である。

## C. 研究結果

### 1. 都道府県がん診療連携拠点病院から薬局への情報提供

#### (1) 連携手順について

連携フローが明示されているのは 51 病院中 36 病院 (71%)

#### (2) 病院が記載する連携ツールについて

連携ツールの記載は 51 病院中 7 病院 (14%)

- ・個別スケジュールの記載は 7 病院中 4 病院
- ・レジメン施行時の臨床検査値は 7 病院中 3 病院
- ・レジメン施行時の副作用評価は 7 病院中 4 病院

#### (3) 処方箋への検査値の記載について

- ・検査値の記載は 51 病院中 25 病院 (49%)
- ・記載項目として、血球、腎機能、肝機能の記載ありは 51 病院中 22 病院 (43%)

#### (4) レジメンの公開について

レジメンの公開を実施しているのは 51 病院中 39 病院 (76%)

その中での記載項目については

- ・1クール日数 (36/39)
- ・癌種・適応病名 (36/39)
- ・投与薬剤 (39/39)
- ・用量 (34/39)
- ・投与スケジュール (36/39)
- ・投与経路 (28/39)
- ・制吐剤、補液など前後処置処方情報 (9/39)
- ・薬剤増減規定 (10/39)
- ・放射線など併用治療情報 (2/39)
- ・催吐リスク (11/39)

#### (5) トレーシングレポートについて

トレーシングレポートの活用について

は 51 病院中 28 病院 (55%) で、そのうち

- ・指定様式 (がん治療薬以外も含む) (25/51)

- ・がん治療薬専用 (9/25)

- ・がん治療薬別 (6/25)

#### (6) 患者が記載する連携ツールについて

指定様式を公表している病院は、51 病院中 2 病院 (4%)

#### (7) まとめ

病院が考える外来がん患者への服薬指導・フォローアップの際に薬局を支援する情報 (項目) が示された。

ただし、その情報には地域 (病院) 間格差があることが示唆された。

### 2. 地域がん診療連携拠点病院から薬局への情報提供

#### (1) 連携手順について

連携フローが明示されているのは 275 病院中 167 病院 (61%)

#### (2) 病院が記載する連携ツールについて

連携ツールの記載は 275 病院中 45 病院 (16%)

- ・個別スケジュールの記載は 275 病院中 178 病院 (65%)
- ・レジメン施行時の臨床検査値は 275 病院中 4 病院 (1%)
- ・レジメン施行時の副作用評価は 275 病院中 10 病院 (4%)

#### (3) 処方箋への検査値の記載について

- ・検査値の記載は 275 病院中 64 病院 (23%)

#### (4) レジメンの公開について

レジメンの公開を実施しているのは 275 病院中 191 病院 (69%)

その中での記載項目については

- ・1クール日数 (182/275)
- ・癌種・適応病名 (183/275)
- ・投与薬剤 (187/275)
- ・用量 (175/275)
- ・投与スケジュール (178/275)
- ・投与経路 (128/275)
- ・制吐剤、補液など前後処置処方情報 (76/275)
- ・薬剤増減規定 (40/275)
- ・放射線など併用治療情報 (27/275)
- ・催吐リスク (28/275)

#### (5) トレーシングレポートについて

トレーシングレポートの活用について

は 275 病院中 113 病院 (32%) で、そのうち

- ・ 指定様式 (がん治療薬以外も含む)  
(94/275)
- ・ がん治療薬専用 (50/275)
- ・ がん治療薬別 (10/275)

(6) 患者が記載する連携ツールについて  
指定様式を公表している病院は、275 病院  
中 7 病院 (3%)

(7) まとめ

地域での病院が考える外来がん患者への  
服薬指導・フォローアップの際に薬局を支援  
する情報 (項目) が示された。

ただし、その情報には地域 (病院) 間格差が  
あることが示唆された

### 3. 薬局アンケートについて

予備調査を基に、薬局における病院からの  
情報収集の現状に関するアンケート調査を  
実施すべく (別添 1) のような調査票案を作  
成した。

調査票案作成においては、薬局の基本情報、  
がん治療薬が含まれる処方箋対応の経験、病  
院からの情報入手の現状、病院からの情報提  
供が必要と考えるものに分類して、質問を作  
成した。

今後、アンケート調査の実施に向けて、調  
査対象の選定方法や実施方法を検討後、本学  
の倫理審査委員会の審議を経た後、アンケ  
ートの実施を行うこととする。

## D. 健康危機情報

総括研究年度終了報告書に記載。

## E. 研究発表

本年度の発表は実施していない。

## F. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

## がん治療にかかる薬薬連携に関する調査票（案）

### 【薬局情報】

各問のいずれかの□に✓を入れてください。

### 【基本情報】

- 1) 薬局所在地 ( ) 都道府県
- 2) 性別 男 女
- 3) 年齢 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
- 4) 勤務形態 常勤（管理薬剤師） 常勤（勤務薬剤師）  
その他（非常勤、現在勤務していない等）
- 5) 受け持ち「かかりつけ患者数」 なし あり（ ）人
- 6) 病院勤務経験 なし あり（ ）年 がん関連の調剤、病棟業務
- 7) がん専門薬剤師の資格 なし あり

2020年4月～2021年3月の1年間でお答えください。薬局全体ではなく、あなた（薬剤師）自身が主に対応した場合についてお答えください。

### 【がん治療薬が含まれる処方箋対応の経験】

- 8) 2020年4月～2021年3月の1年間に何人のがん治療薬が含まれる処方箋に対応しましたか。  
ない場合には、「0」人と記入してください。  
( ) 人
- 9) 対応したがん患者に対するフォローアップの必要性を検討しましたか。  
しない した
- 10) 9) でフォローアップの必要性を検討した薬局・薬剤師にお伺いします。フォローアップの必要性の検討内容の内、下記の項目はありましたか。

- a) 検査値 なし あり
- b) 残薬状況 なし あり
- c) レジメンから予想される副作用 なし あり
- d) 現在の副作用状況 なし あり

11) 対応したがん患者にフォローアップをしましたか。

- なし あり

12) 11) でフォローアップをした薬局・薬剤師にお伺いします。フォローアップ内容の内、下記の項目はありましたか。

- a) 服薬状況（原因） なし あり
- b) 体調 なし あり
- c) 副作用（初期症状、副作用状況（Grade）、発現時期など） なし あり
- d) b)、c)に伴うテレフォンフォローアップ なし あり

13) 11) でフォローアップをしなかった薬局・薬剤師にお伺いします。理由の内、下記の項目はありましたか。

- a) 病院からの情報不足 なし あり
- b) 時間不足 なし あり
- c) がん治療薬に関する知識不足 なし あり
- d) フォローアップの形式・指示がない なし あり
- e) フォローアップの有効性がないと判断した なし あり

### 【病院からの情報入手の現状】

14) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院は、地域がん診療に関する連携フローを公表または

情報提供していますか。

- 全ての病院でしていた      一部の病院でしていた      していなかった  
分からない・知らない

15) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院は、レジメンを公表または情報提供していますか。

- 全ての病院でしていた      一部の病院でしていた      していなかった  
分からない・知らない

16) 15) でレジメンに関する情報を入手した薬局・薬剤師にお伺いします。レジメンに関する情報の内、下記の項目はありましたか

- a) 1クール日数      なし      あり  
b) 癌種・適応病名      なし      あり  
c) 投与薬剤      なし      あり  
d) 用量      なし      あり  
e) 投与スケジュール      なし      あり  
f) 投与経路      なし      あり  
g) 制吐剤、補液など前後処置処方情報      なし      あり  
h) 薬剤増減規定      なし      あり  
i) 放射線など併用治療情報      なし      あり  
j) 催吐リスク      なし      あり

17) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院は、処方箋等に検査値を記載していますか。

- 全ての病院でしていた      一部の病院でしていた      していなかった

18) 17) で記載のあった検査値の内、下記の項目はありましたか。

- a) 血球      なし      あり  
b) 腎機能      なし      あり  
c) 肝機能      なし      あり

- 19) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院からフォローアップ内容及びタイミングの指示・情報提供はありましたか。
- なし      あり
- 20) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院からトレーシングレポートの様式等の指示・情報提供はありましたか。
- なし      あり
- 21) 20) で記載のあった検査値の内、下記の項目はありましたか。
- 一般的な様式（がん治療薬にかかわらない）
- がん治療薬専用      がん治療薬別
- 22) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院にトレーシングレポートを出した後に、病院からのフィードバックはありましたか。
- なし      あり
- 23) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院から患者が記載する連携ツールに関する指示・情報提供はありましたか。
- なし      あり

### 【病院からの情報提供が必要と考えるもの】

薬局・薬剤師ががん治療薬の処方監査、服薬指導時及びフォローアップ時に必要となる情報についてお答えください。

- 24) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院からの地域がん診療に関する連携フロー
- 必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- 25) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院のレジメン
- 必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- 26) 25) でレジメンが「必要」または「どちらかといえば必要」とお答えした薬局・薬剤師にお

伺います。レジメンに関する情報の内、下記の項目

- a) 1クール日数      必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- b) 癌種・適応病名    必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- c) 投与薬剤          必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- d) 用量                必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- e) 投与スケジュール   必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- f) 投与経路          必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- g) 制吐剤、補液など前後処置処方情報
- 必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- h) 薬剤増減規定      必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- i) 放射線など併用治療情報
- 必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- j) 催吐リスク        必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要

27) がん治療薬が含まれる処方箋等への検査値の記載

必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要

28) 27) で検査値が「必要」または「どちらかといえば必要」とお答えした薬局・薬剤師にお伺  
います。検査値に関する情報の内、下記の項目

- a) 血球      必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- b) 腎機能    必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要
- c) 肝機能    必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要

29) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院からフォローアップ内容及びタイミングの指示・情  
報提供

必要    どちらかといえば必要    どちらかといえば不必要    不必要

30) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院からトレーシングレポートの様式等の指示・情報提



供

必要 どちらかといえば必要 どちらかといえば不必要 不必要

- 31) 30) でトレーシングレポートの様式等の指示・情報提供が「必要」または「どちらかといえば必要」とお答えした薬局・薬剤師にお伺いします。必要なトレーシングレポートの様式

一般的な様式（がん治療薬にかかわらない）

がん治療薬専用 がん治療薬別

- 32) トレーシングレポートを出した後に、病院からのフィードバック

必要 どちらかといえば必要 どちらかといえば不必要 不必要

- 33) がん治療薬が含まれる処方箋の発行病院から患者が記載する連携ツール

必要 どちらかといえば必要 どちらかといえば不必要 不必要

#### 【がん治療薬の対応に関する保険薬局の薬剤師の現状認識】

がん治療薬が含まれる処方箋対応について、ご自身の現状での認識についてお伺いします。

- 34) がん治療薬が含まれる処方箋を受け付けた際、ご自身が十分な対応が出来ているか、最も当てはまるものを選択してください。

十分出来ている

どちらかといえば出来ている

どちらかといえば出来ていない

出来ていない

- 35) がん治療薬のフォローアップを行うにあたり、病院から十分な情報提供があれば、現状と比較して対応がしやすくなると思いますか。最も当てはまるものを選択してください。

対応しやすくなる

どちらかといえば対応しやすくなる

どちらかといえば対応しにくくなる

対応しにくくなる

36) 35) で「どちらかといえば対応しにくくなる」または「対応しにくくなる」と回答した方にお伺いします。その理由のうち、下記の項目は当てはまりますか。

a) フォローアップの方法を十分理解できていない

当てはまる どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

b) がん治療全般に対する知識が十分でない

当てはまる どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

c) 患者の理解が得られない

当てはまる どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

d) 業務が煩雑になり、負担が増える

当てはまる どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない

e) 処方元の医療機関との連携が十分でない

当てはまる どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない 当てはまらない